

輸出連絡書

東陽テクニカより購入した(購入予定の)貨物等に関し、下記の通り輸出(一時持出し含む)することをご連絡申し上げます。

お客様記入欄			
御社名： (英文)	TOYO Corporation	電話：	+81-3-3245-1240
部署名： (英文)	Engineering Department	お名前：	Toyo Taro
輸出する貨物 又は技術名：	(型式/シリアルNo.) PCB 482A20/123467 PCB 378B02/456789		
輸出先国 名： (英文)	England	海外顧客名 (英文)	Toyo England, Ltd,
海外顧客住所： (英文)	1-1 Charlotte Street, London W1T 1RJ, Eng		
海外顧客の事業内容	圧縮機の製造、販売	輸出予定日	20XX年 1月 1日 頃
輸出貨物又は技術名の 海外顧客での使用目的 (具体的に)：	圧縮機の騒音測定		
日本からの実際の輸出者：	一時持出し： YES • NO		使用后、日本に持ち帰る場合は「YES」にOを付けてください。
輸出手続きのために当社へ希望する提出書類：	<input checked="" type="checkbox"/> 該非判定書 <input type="checkbox"/> EAR判定 <input type="checkbox"/> その他 ()		

当社起票部署記入欄	再輸出審査票	受注番号：
社内用型式・製品名称		
指定された納入場所はあるか： なし • あり ()		
契約先、海外顧客、実際の輸出者を取引禁止顧客リスト等に照合した結果： 該当なし • 該当あり		
用途チェックリスト及び需要者チェックリストの確認結果「はい」が一つでもあるか： いいえ • はい		
原産国(仕入先)への再輸出可否確認の結果：		
再輸出可能 条件付で可能 (条件：)		
再輸出不可能 (理由：)		
重要： 当該調査票には原産国(仕入先)への再輸出可否確認を行った ①往復文書、②用途チェックリスト、③需要者チェックリストを起票して添付して下さい。(※②及び③で一つでも「はい」がある場合は「明からガイドラインチェックリスト」も起票して添付して下さい。)		

安全保障貿易管理委員会記入欄			
委員会審査判定	再輸出可能	条件付で可能	再輸出不可能
条件			
理由	承認番号：		
	承認年月日： 年 月 日		

